

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	地域公共交通対策事業		所管課【2】	企画経営課
			評価者(担当者)	石貫誠哉
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①便利で快適なまちづくり		
	主要施策(節)	(2)公共交通の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)バス路線網の整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市地方バス運行等特別対策補助金交付要綱、玉名市生活交通路線維持費補助金交付要綱等】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 地域公共交通総合連携計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 2 項 1 目 13 細目 9			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公共交通は、道路交通体系の充実や自家用車の普及に伴い利用者が減少傾向にあり、民間事業者だけでは維持していくことが困難な状況にある。そのため、バス路線の欠損補助など公的支援を行い、特に移動制約者の日常生活における移動手段を確保している。しかし、現状の公共交通体系が実態に即しているとは言い切れず、非効率な運行形態や市の財政負担増、交通空白地への対応など課題を抱えている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民及び来訪者、公共交通
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	将来的にも利用され、財政的にも負担の少ない効率的、効果的な公共交通体系を構築し、便利で安心して暮らせる玉名の実現に寄与する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 玉名市地域公共交通会議 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・市の公共交通体系を協議し、一部事業については自ら実施する「玉名市地域公共交通会議」の主催 ・地方バス路線維持のための運行補助 ・乗合タクシー事業に対する補助 ・JR大野下駅及び肥後伊倉駅の管理業務 ・地方バス対策玉名地域ブロック協議会に関する業務 ・阿蘇くまもと空港の国際線振興に関する業務	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 地方路線バス運行補助事業 ② 滑石・岱明しおかぜタクシー運行補助事業 ③ 大浜・横島いちごタクシー運行補助事業 ④ 天水・河内みかんタクシー運行補助事業 ⑤ JR駅管理業務委託事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	6,270	6,406	6,540	6,406	
		起債					
		受益者負担					
		その他	3,820	10,122	10,561	8,830	
		一般財源	87,366	79,419	84,587	87,212	
	【16】小計	97,456	95,947	101,688	102,448	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人件費	職員人工数	1.70	1.11	1.12	1.12	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
【17】小計		9,221	6,395	6,452	6,452		
合計	106,677	102,342	108,140	108,900			

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 地方路線バス運行補助事業	路線維持のため、バス事業者に対し、補助金を交付	運行系統数(維持確保数)	系統	29	20	20	20
② 滑石・岱明しおかざタクシー運行補助事業	事前予約制も乗合タクシー運行への補助	運行台数	台	1,213	2,933	3,104	3,104
③ 大浜・横島いちごタクシー運行補助事業	事前予約制も乗合タクシー運行への補助	運行台数	台	1,272	2,737	2,827	2,827
④ 天水・河内みかんタクシー運行補助事業	事前予約制も乗合タクシー運行への補助	運行台数	台	1,449	1,573	1,531	1,531
⑤ JR駅管理業務委託事業	乗車券類の窓口販売や駅環境の改善	勤務日数	日	309	309	310	309

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 路線バス・乗合タクシー利用者数	玉名市地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値	万人	—	—	—	—
			91	88	87	
2 乗車券類窓口発売枚数	駅業務を再委任した団体の駅員による窓口での乗車券類発売数	枚	—	—	—	—
			21,177	19,052	20,640	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業の廃止は、交通事業者による公共交通の撤退につながり、移動制約者等の日常生活に影響を与える。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	時刻表や路線図を分かりやすく情報提供するなど、利用促進につながる取組を継続して実施するほか、公共交通の空白地域において公共交通の新規導入し、住民の移動手段を確保する。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
		受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	玉名市全体の地域公共交通の将来像や見直しの方向性をまとめた「地域公共交通総合連携計画」にもとづき、バス路線の効率化や利用促進、市の郊外に点在する交通空白地帯の解消等を実施していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	H26年度に作成した市内の公共交通を網羅した公共交通マップ及び時刻表について改良版をH27年10月に作成し、全戸配布した。市内循環バスの平成28年10月導入に向け、ルートや停留所の位置、名称など交通事業者など関係機関と協議を重ねた。同時に、市内中心部の既存バスルートについて、全体的に短縮するために関係市町と協議し、方向性について合意形成を図った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	地域公共交通は、自家用車を主体とした生活スタイルの定着と、人口減少や少子高齢化の進展などにより、取り巻く環境の厳しさが増す状況にあるが、地域の経済・社会活動の重要な基盤であり公共財的役割も大きい。地域活性化や地球温暖化対策の観点からもこれを維持又は強化させていく事は有意であり重要である。	評価責任者 松田智文
------------------	--	---------------